【取組内容】②あらゆる場面を通した情報活用能力の育成(全体像)

効率的・効果的と考えられる場面では積極的に端 末の利用を進めている

各教科の特性や分野に応 じてよりよい学びの実現 に向けた活用

目的を明確にして持 ち帰り、活用を進め ている

【主な持ち帰り場面】 ①教科の課題等、②長期休業 教科

情報活 用能力 の育成

家庭

【生徒集会の様子】



委員会活動や生徒集会において積極的に活用

生徒会活動

【取組内容】②あらゆる場面を通した情報活用能力の育成

観点	活動内容	資質・能力が育成される場面
A. 知識及び技能	授業 生徒会活動 家庭	○授業等において、データを共有することのメリットとデメリットについて指導することで、情報モラルに関する理解を深めている。○長期休業前に家庭における端末利用について指導し、家庭とも連携するなど、トラブル等に巻き込まれることへの未然防止に努めている。
B. 思考力、判断力、 表現力	授業 生徒会活動 家庭	○授業における課題学習や委員会活動の企画・ 運営等の機会をとおして、問題解決・探究にお ける情報を活用する力を培っている。また、長 期休業等においても日記の入力等で端末を活用 しており、家庭でも活用する機会がある。
C . 学びに向かう力、 人間性等	授業 生徒会活動 家庭	○自身のさまざまな課題に対して、端末を 積極的に活用することで、問題解決・探究 における情報活用の態度を培っている。